

高橋 恭子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 高橋恭子（2021）「第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ」『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 2021 ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会，67-74.
- 2) 高橋恭子（2021）「第4章第1節 ソーシャルワーク前史」『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 2021 ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会，140-152.
- 3) 高橋恭子（2021）「第6章第1節1 保健医療分野におけるソーシャルワーク実践の歴史と動向」日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『保健医療と福祉』中央法規出版，166-170.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 2) 横須賀市総合計画審議会副委員長.
- 3) 横須賀市男女共同参画及び多様な性の尊重に関する審議会委員.
- 4) 日本社会福祉学会、機関誌『社会福祉学』査読委員.
- 5) 日本保健医療社会福祉学会、医療ソーシャルワーク資料集編纂委員会委員.
- 6) 日本保健医療社会福祉学会査読委員.
- 7) 日本医療社会福祉協会、研修統括部委員.
- 8) 日本医療社会福祉協会、保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修課題作成及び採点担当.
- 9) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、実習指導委員会委員.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス学科説明.
- 2) 高等学校「福祉学」系統別説明会、横須賀市立横須賀総合高等学校.
- 3) 高等学校「福祉学」系統・分野別説明会、川崎市立川崎高等学校.
- 4) 性暴力対応ネットワーク StaRT かながわ事務局長.

6 講演，放送

- 1) 横須賀市犯罪被害者等基本条例検討協議会報告. 性暴力被害者支援について、条例案に対する所見.

7 学会等での活動

- 1) 高橋恭子「感染症の歴史にかかわる文献・資料の紹介 明治・大正期のコレラについて」東京社会福祉史研究会.
- 2) 高橋恭子、実習指導委員会報告会「コロナ禍における実習指導について～実習現場・養成校からの実践報告～」神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、桑島規夫、福田美香、松田幸久、堀越由紀子.

8 学内教育活動

- 1) 学生サークル「Child Wish」顧問.
- 2) 学生サークル「バスケットボール部」顧問.
- 3) 学部担当科目「医療福祉論」「精神保健学Ⅱ」「社会福祉の歴史と現代社会」「ヒューマンサービス論」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」「社会福祉専門実習」.
- 4) 大学院担当科目「ソーシャルワーク特論Ⅳ」「社会福祉特別演習」「社会福祉特別研究」「医療社会福祉実践・政策特論」「医療社会福祉実践・政策演習」「保健福祉学特別研究」.
- 5) 修士論文作成指導 1 名、指導補助 2 名.
- 6) 国家試験対策講座担当科目「保健医療サービス」.
- 7) 実践教育センター担当科目「保健医療福祉論」.

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長.
- 2) 教育研究審議会委員.
- 3) 学長補佐会議委員.
- 4) 総務・企画委員会委員.
- 5) 地域貢献センター運営会議委員.
- 6) COI（利益相反）審査会委員.
- 7) 第二次将来構想検討委員会委員.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高橋恭子、小峯千明、武石紗熙ほか「経済的理由で治療や療養先の選択が限られる患者とソーシャルワーカーの支援に関する研究」地域貢献研究センター研究助成、研究経費 85 千円.

新保 幸男（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 山縣文治・新保幸男編著『児童・家庭福祉論』（全国社会福祉協議会、編著）
- 2) 新保幸男・小林理編著『家庭支援論』（中央法規出版、編著）

2 学術論文

- 1) 小林理・中原慎二・新保幸男「社会的養護における専門職の人材育成に関する実態と課題－職場研修のニーズを中心に－」『厚生指針』第67巻第8号、厚生労働統計協会、2020年 p. 33-39.

3 その他の著作

- 1) 相良友香・福士貴子・石井忍・新保幸男「利用者主体に関する考察（1）：特別養護老人ホームにおける介護福祉を中心として」『令和2年度日本社会福祉学会関東部会要旨集』（2021年3月5日）
- 2) 新保幸男・相良友香・福士貴子・石井忍「利用者主体に関する考察（2）：児童虐待への対応を中心として」『令和2年度日本社会福祉学会関東部会要旨集』（2021年3月5日）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」（会長）
- 2) 内閣府「子供の貧困対策に関する有識者会議」（座長代理）
- 3) 内閣府「子供・若者育成支援のための有識者会議」（構成員）
- 4) 厚生労働省「社会保障制度審議会」（臨時委員）
- 5) 厚生労働省「社会保障審議会児童部会委員」（部会長代理）
- 6) 厚生労働省 社会保障制度審議会児童部会「ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」（委員長代理）
- 7) 厚生労働省「母子・父子自立支援員等による相談支援体制の実態に関する調査研究委員会」（委員長）
- 8) 厚生労働省「ひとり親家庭の在宅就業に関する調査研究委員会」（委員長）
- 9) 厚生労働省「子どもの学習・生活支援事業の支援効果を高める連携手法等に関する調査研究委員会」（委員）
- 10) 東京都「ひとり親家庭自立支援計画策定委員会」（副委員長）
- 11) 横浜市「就学奨励対策審議会」（委員）
- 12) 市原市「要保護児童保護施策審議会」（委員）
- 13) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』（査読委員）
- 14) 横浜市社会福祉協議会「苦情解決調整委員会」（委員）
- 15) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」（委員長）
- 16) 財団法人養育費相談支援センター「運営会議」（委員）

17) 社会福祉法人横須賀基督教社会館「評議員会」(評議員)

5 社会貢献

- 1) 資生堂社会福祉事業財団が実施している奨学金支給制度(児童養護施設等へ措置されている児童が大学等へ進学するために支給するものにかかわる審査会の委員長として審査を担当した。
- 2) NPO 法人「10代・20代の妊娠 SOS 新宿」への支援を行なった。
- 3) 神奈川県保育会への支援を行なった。

6 講演, 放送

- 1) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講演「児童家庭福祉」(COVID-19 対応のため録画での講演を行なった)
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて児童福祉司資格認定講習会講演「児童家庭福祉」(COVID-19 対応のため録画での講演を行なった)
- 3) 東京都 社会的養護専門職スーパーバイザー研修講師をつとめた。(COVID-19 対応のため Zoom で研修を行なった)
- 4) 愛知県社会福祉協議会における講演「コロナ禍における学習・生活支援」を行なった。(COVID-19 対応のため Zoom で研修を行なった)
- 5) 児童福祉にかかわる事項についての報道機関からの取材依頼に応じた。

7 学会等での活動

- 1) 日本子ども家庭福祉学会 幹事
- 2) 同上 学会機関誌査読委員
- 3) 同上 会員
- 4) 日本社会福祉学会 学会誌査読委員
- 5) 同上 会員
- 6) 日本社会福祉学会関東部会 学会機関誌査読委員
- 7) 同上 会員
- 8) 日本保健福祉学会理事
- 8) 同上 会員
- 9) 日本キリスト教社会福祉学会会員
- 10) ヒューマンサービス研究会会員

8 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程の大学院生 1名の博士論文研究計画審査会の主査をつとめた。
- 2) 大学院博士前期課程の大学院生 1名の研究指導を担当した。
- 3) 大学院博士前期課程の修士論文審査 1本の主査を担当した。
- 4) 大学院博士前期課程の修士論文審査 1本の副査を担当した。
- 5) 大学院博士前期課程において、「社会福祉原論」「児童福祉特論」「社会福祉調査研究方法論」の授業を科目責任者として授業を全て担当した。

- 6) 学部において、「ヒューマンサービス論Ⅱ」の授業8回のうち7回を担当した。
- 7) 学部において、「児童福祉論」の授業を科目責任者として全て担当した。
- 8) 学部において、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導」の授業について6人の学生を指導した。
- 9) 学部において、「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「社会福祉専門実習」「卒業論文」の授業を担当した。
- 10) 学部のゼミにおいて、3年次生3名、4年次生6名の指導を行った。
- 11) 学科で実施している国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科人事小委員会委員
- 2) 図書委員会委員（2020年4月～2020年10月）
- 3) 自己評価委員会委員（2020年4月～2020年10月）
- 4) 入試委員会（2020年11月～2021年3月）

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究特別研究「新型コロナウイルス感染症流行下における子ども食堂の運営実態の把握とその効果の検証のための研究（研究代表者、新保幸男）」

玉川 淳（大学院保健福祉研究科兼務）

1 著書

- 1) 玉川淳（2020）第6章 福祉行政のしくみと民間活動．西村淳編．新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉（pp.207-226）．東京．メヂカルフレンド社．

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市児童福祉審議会委員（子ども育成分科会長）．2020.4～
- 2) 社会福祉振興・試験センター介護支援専門員実務研修受講試験委員会委員（幹事委員）．2020.4～
- 3) 日本看護協会看護職の継続教育に関する検討委員会委員．2020.8～

6 講演，放送

- 1) 「くらしを支える医療、介護、年金の役割 2040 年に向けた社会保障制度の再構築」横須賀市市民大学特別講座．2020.10.3.

7 学会等での活動

- 1) 玉川淳（2020）．「公衆衛生」を目的に規定する法律の制定状況．第79回日本公衆衛生学会総会．日本公衆衛生雑誌 67（11）特別附録 p.287．2020.10.20．京都市．

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目「人権・ジェンダー」「地域保健医療福祉連携論」「ヒューマンサービス総合演習」「保健福祉行政論」「社会福祉行財政と福祉計画」（分担）「社会福祉基礎演習Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」
- 2) 大学院担当科目「ヒューマンサービス特論・演習」「人事管理・育成論」「保健福祉政策特論」（分担）
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座において「福祉行財政」を担当．

9 学内各種委員会活動

- 1) 時間割編成ワーキンググループ．
- 2) 第二次将来構想委員会ヒューマンサービス研究会のあり方ワーキンググループ．
- 3) チューター．

中村 美安子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 石井忍, 松田愛美, 中村美安子 (2020). 入所者の重度化に対応するユニットケアの体制に関する研究—特別養護老人ホームにおける食事介助が入居者受け入れに与える影響—. (報告). 神奈川県立保健福祉大学誌第 18 巻第 1 号. 45-53.-査読有. 2021.3

3 その他の著作

- 1) 中村美安子 (2020). 変わる地域のかたちと民生委員・児童委員の役割. 「単位民児協会長のための情報誌 View」No.218. 全国民生委員児童委員連合会. P.9. 2020.12
- 2) 中村美安子 (2021). 『やってみた』が広がること. 市町村民児協発活動研究ノート活動を読み解くヒント・ポイント. 神奈川県民児協だより第 144 号. 神奈川県民生委員児童委員協議会. 2021.3

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局. 社会福祉推進事業評価委員会委員. 2011.9～
- 2) 横浜市福祉のまちづくり推進会議副委員長. 2013.7.～
- 3) 横浜市子ども・若者支援協議会委員. 2016.11.1～2020.10
- 4) 横浜市介護保険運営協議会委員. 2018.8～
- 5) 横浜市福祉のまちづくり推進会議小委員会委員長. 2020.1～2021.3
- 6) 全国民生委員児童委員連合会. 地域福祉推進部会委員. 2011.5～
- 7) (福) 横須賀市社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会委員. 2013.4～
- 8) (福) 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員. 2013.9～
- 9) (福) 狛江市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会副委員長. 2016.6.～
- 10) (福) 狛江市社会福祉協議会. コミュニティサーシャルワークアドバイザー. 2018.4～
- 11) (福) 横須賀市社会福祉協議会. よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員. 2019.4～
- 12) (福) 横浜市福祉サービス協会理事 2019.6～
- 13) (福) 神奈川県民生委員児童委員協議会総合企画委員会委員 2020.11～

5 社会貢献

- 1) 公益財団法人横須賀市生涯学習財団主催. 横須賀市市民講座. 横須賀市民を対象に地域福祉入門講座を講義した. 2020.9

7 学会等での活動

- 1) 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛 (2020). 成年後見人が管理する空き家の活用可能性と条件 ～空き家活用による住民福祉活動拠点の確保に関する研究. 日本建築学会大会 (関東). 学術講演梗概集 P523-524 . 2020.9.

8 学内教育活動

- 1) 令和2年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」の資料作成

9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会委員. 2019.4～2020.10

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究代表者. 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰. 住民福祉活動拠点の確保における空き家活用方策に関する研究. 平成31年度～令和3年度. 338万円. 2019.4～2022.3.
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究協力者. 藤岡泰寛, 大原一興, 田中 稲子, 野原 卓. 異世代シェア型地域居住モデル構築を通じた郊外住宅地の介護予防力向上に関する研究. 平成31年度～令和3年度. 500万円. 2019.4～2022.3.

14. その他

- 1) 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛 (2020). 神奈川県内の行政書士士で成年後見人である者 483 名を対象に「神奈川県内成年後見人 (行政書士) が管理する空き家に関する調査」を実施. 2020.6

西村 淳（大学院保健福祉学研究科・ヘルスイノベーション研究科兼務）

1 著書

- 1) 西村淳（2020）「社会福祉の歴史と動向」「社会福祉の諸制度と施策」西村淳編『社会福祉（健康支援と社会保障制度③新体系看護学全書）』メジカルフレンド社, 111-208.
- 2) 西村淳（2021）「長期就労と年金制度」日本年金学会編『人生100年時代の年金制度』法律文化社, 34-50.
- 3) 西村淳（2021）「年金制度の概要」日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『社会保障（最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座⑦）』中央法規, 158-194.
- 4) 西村淳（2021）「諸外国における社会保障制度の概要」社会福祉学習双書編集委員会編『社会保障論（社会福祉学習双書2021⑥）』全国社会福祉協議会, 289-315.

2 学術論文

- 1) 西村淳(2020)「イギリス・生活困窮者その他の働きづらさを抱える者に対する雇用・就業支援」『日本財団 Work! Diversity プロジェクト 2019 年「海外状況整理部会」報告書』, 16-27.
- 2) 西村淳(2020)・「年金制度の国際比較と社会保障協定—国際社会保障法の確立に向けて」『年金と経済』39(2), 197-202.
- 3) 西村淳(2020)「オーストラリアの年金制度」『年金と経済』39(2), 41-44.
- 4) 西村淳(2020)「企業年金制度の課題と将来」『週刊社会保障』No.3083, 48-51.
- 5) NISHIMURA, Jun(2020) ‘The Legal Structure of Personal Social Services in Regional Spaces-A Discussion in the Context of Japanese Community Care Policy’ *Journal of Japanese Law*, Volume 25, No.50, Max Planck Institute, 65-73.
- 6) 西村淳(2021)「ケアの倫理と社会保障法—給付中心の法から支援中心の法への転換のために」『神奈川県立保健福祉大学誌』18(1), 9-19.
- 7) 西村淳(2021)「書評・三輪まどか著『契約者としての高齢者』」『社会保障法』36, 178-181.

3 その他の著作

- 1) 西村淳「春から初夏の草花と風」『厚生指標』第67巻第7号(2020年7月)
- 2) 西村淳「それぞれの時代」『厚生指標』第67巻第13号(2020年11月)
- 3) 西村淳「オンラインで人はつながれるのか？」『厚生指標』第68巻第3号(2021年3月)

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会理事（6月から）
- 2) 日本年金学会幹事（通年）
- 3) 横浜市国民健康保険運営協議会委員（会長、通年）
- 4) 横須賀市人権施策推進会議委員（委員長、通年）
- 5) 横須賀市社会福祉審議会委員（高齢福祉専門分科会長、通年）
- 6) 社会福祉士および精神保健福祉士試験委員（通年）

- 7) 国家公務員試験専門委員（通年）
- 8) 『年金と経済』編集委員（通年）
- 9) 北海道大学公共政策学研究センター研究員（通年）

5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人一石会苦情解決委員（通年）
- 2) 横須賀市鶴が丘地区「人社プロジェクト」に協力

6 講演、放送

- 1) 「地域福祉の実際・歴史・理念」北海道大学公共政策大学院（2020年10月）
- 2) 「新しい高齢者保健福祉計画の策定の現場から」横須賀の2040年を考える会（2020年12月）

7 学会等での活動

- 1) 西村淳「公衆衛生と社会保障法」第3回社会保障法フォーラム（2021年2月）

8 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当：「保健医療福祉論Ⅱ」「社会福祉の法と制度」「法と人間」「福祉の哲学」
- 2) 学部の演習担当：「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」
- 3) 卒業研究指導（学部）6名
- 4) 大学院保健福祉学研究科の講義担当：「保健福祉行政特論」「多職種連携システム開発演習」「医療社会福祉実践政策特論」「医療社会福祉実践政策演習」「保健福祉人材育成論」
- 5) 大学院ヘルスイノベーション研究科の講義担当：「財政と社会保障」
- 6) 博士前期課程1名・博士後期課程1名の論文指導教員、博士前期課程1名の論文指導補助教員

9 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉研究科運営会議委員
- 2) 大学院保健福祉研究科入試委員（委員長）

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 科研費補助金（基盤研究C）「地域福祉の法的権利構造の解明に関する研究—市民参加支援としての社会福祉の観点から」（研究代表者）
- 2) 科研費補助金（基盤研究B）「空間と法の相互規定性から見た公法学の再構築—学際的アプローチ」（分担研究者）
- 3) 科研費補助金（基盤研究B）「地域の再生を通じた持続可能な社会保障制度の再構築」（分担研究者）
- 4) 三菱UFJ信託奨学財団研究助成金「高齢者の経済的課題を支える保護と意思決定支援」（分担研究者）

山本 恵子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 山本恵子、他 3 名 共編著『福祉社会デザイン論』 執筆担当 10 章 p.168~182「福祉社会と都市 commons」 啓文堂

2 学術論文

- 1) 山本恵子、他 1 名 共著「日英の若者就労支援の動向」 p.11~24 旬報社『賃金と社会保障』 第 1774 号 3 月下旬号 執筆担当 はじめに、I、II、IV

5 社会貢献

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長
- 2) 葉山町地域包括支援センター運営協議会会長

8 学内教育活動

- 1) 大学院教授として、以下の科目を担当した。博士後期課程「保健福祉国際政策特論」前期課程「ケアマネジメント・地域ケア特論」「社会福祉特別演習」「社会福祉学特別研究」。
- 2) 学部教授として以下の科目を担当した。「高齢者福祉論」「社会福祉専門演習 I」「社会福祉専門演習 II」。
- 3) 大学院前期課程、最終試験において二名を主査として担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) 介護コース コース長

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究 c)「貧困削減と捕捉率に関する日英比較研究」研究代表者
- 2) 科学研究費補助金(基盤研究 c)「英国の福祉改革 働くための福祉に関する調査研究」研究分担者

在原理恵（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 在原理恵（2021）「横浜市における全身性障害者グループホーム誕生までの軌跡－神奈川県青い芝の『小さな施設』構想とのつながりからの考察－」社会福祉学評論 21. 77-90

3 その他の著作

- 1) 在原理恵（2021）『『自己点検』と『話し合い』が大切！－チェックリストを活用して』季刊グループホーム 68.20-21

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員（2010.6～）
- 2) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長（2014.4～）
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 委員長（2018.4～）
- 4) 神奈川県障害者施策審議会委員（2016.6～）
- 5) 社会福祉法人自立の家 評議員（2017.4～）
- 6) 社会福祉法人県央福祉会 理事（2018.6～）
- 7) 神奈川県障害者介護給付費等不服審査会 会長（2019.4～）
- 8) 葉山町障害者福祉計画策定委員会委員長（2020.5～2021.3）

5 社会貢献

- 1) 障害者グループホーム第三者評価 評価調査者フォローアップ研修会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2020.8.24）
- 2) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 評価機関・評価調査者向け説明会，講師（2020.9.11）
- 3) 横須賀高校スーパーサイエンスハイスクール事業 課題研究指導担当（2年生3名）

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目「障害者福祉論」「社会福祉調査論」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「社会福祉調査実習」「疫学・社会調査」「社会福祉の歴史と現代社会」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」
- 2) 大学院担当科目「社会福祉特別研究」
- 3) 修士論文作成指導1名、修士論文主査1名、修士論文副査1名
- 4) 国家試験対策講座担当科目「社会調査の基礎」

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員

川久保 寛（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 西村淳編集『健康支援と社会保障制度③ 社会福祉』（メジカルフレンド社、2020年）
（分担執筆）担当「第2章 社会保障制度と社会福祉」「第3章 社会保険制度」（29－110頁）

2 学術論文

- 1) 川久保寛「就学援助の意義と可能性－市町村による支援と利用者情報の活用－」週刊社会保障 3081号（2020年）42－47頁。
- 2) 川久保寛「成年後見・権利擁護と社会保障法」社会保障法研究 12号（2020年）3－22頁。

3 その他の著作

- 1) 川久保寛（匿名）「（紹介）加藤智章ほか編著『世界の病院・介護施設』（法律文化社、2020年）」健康保険 2020年11月号（2020年）33頁。
- 2) 川久保寛「（紹介）掛川直之『犯罪からの社会復帰を問いなおす』（旬報社、2020年）」週刊社会保障 3114号（2021年）33頁。

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市社会福祉協議会・よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員（2013年10月1日から現在まで。2015年6月2日から副委員長）
- 2) 横須賀市・地域包括支援センター総評担当（2014年度から現在まで）
- 3) 日本社会保障法学会・編集委員（2016年12月から現在まで）
- 4) 横須賀市・障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会委員（2019年4月から現在まで）
- 5) ソーシャルワーク教育学校連盟・国家試験合格支援委員（2020年4月から現在まで）

5 社会貢献

- 1) 横須賀市大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員（2016年11月から現在まで）

7 学会等での活動

- 1) 川久保寛「成年後見・権利擁護と社会保障法」東京社会保障法研究会・研究報告（zoom）2020年5月23日。
- 2) 川久保寛「就学援助と学びの支援－市町村による支援とその対象」東京社会保障判例検討会・研究報告（zoom）2020年6月19日。
- 3) 川久保寛「高齢者の介護と住まいの相談支援－住まいの選択を中心に－（仮）」高齢者法研究会・研究報告（zoom）2020年9月10日。
- 4) 川久保寛「地域福祉サービスと公的規制－地域包括ケアシステムにおける質の確保－（仮）」社会福祉学科内研究会・研究報告（於神奈川県立保健福祉大学）2020年9月25日。

- 5) 川久保寛「高齢者の『住み替え』と相談支援—生活の場の選択を中心に—(仮)」東京社会保障法研究会・研究報告 (zoom) 2020年10月17日。
- 6) 川久保寛「横須賀市家庭保育福祉員損害賠償請求事件」東京社会保障判例検討会・研究報告 (zoom) 2020年11月20日。
- 7) 川久保寛「横須賀市家庭保育福祉員損害賠償請求事件」琉球労働法研究会・研究報告 (於弁護士法人アクロゴス) 2021年3月8日。

8 学内教育活動

- 1) (学部) 社会保障論、権利擁護と成年後見制度、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、社会福祉基礎演習Ⅱ、社会福祉専門演習Ⅰ
- 2) (社会福祉士国家試験対策) 社会保障論、権利擁護と成年後見制度、就労支援サービス、更生保護、模擬試験

9 学内各種委員会活動

- 1) 国家試験連絡担当 (2015年4月から現在まで)
- 2) オープンキャンパス担当 (2015年4月から現在まで)
- 3) 研究委員会 (2019年4月から現在まで。2020年4月から副委員長・大学誌編集委員長)
- 4) 研究委員会動物実験専門部会 (2019年4月から現在まで)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 川久保寛「高齢者への相談支援の法と実務—ドイツを参照した実証論的研究—」若手研究代表者、2020年4月から2023年3月まで、1,200,000円。
- 2) 川久保寛「パンデミック下での高齢者の保護と年齢差別」国際共同研究強化B(研究代表・関ふ佐子横浜国立大学教授) 研究分担者、2020年10月から2024年3月まで、300,000円。
- 3) 川久保寛「地域の再生を通じた持続可能な社会保障制度の再構築」基盤B(研究代表・菊池馨実早稲田大学法学学術院教授) 研究分担者、2019年4月から2022年3月まで、200,000円。

14 その他

- 1) 横須賀市・地域福祉課事例検討会アドバイザー (2020年8月12日)。

川村 隆彦（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 川村隆彦（共著）（2021）「ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ」日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 『最新社会福祉士養成講座、精神保健福祉士養成講座』『ソーシャルワークの理論と方法』 120-170 中央法規出版.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会 『社会福祉学』 査読委員（2006. 1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会 『ソーシャルワーク学会誌』 査読委員（2013. 10～）
- 3) 逗子市地域包括ケア会議委員（2018. 4～）

5 社会貢献

- 1) 東京都保健福祉財団主催の研修会にて、「パワーレスとエンパワメント」をテーマに地域包括の社会福祉士等へのスキルトレーニングを行う。

8 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワーク I」「ソーシャルワーク II」「ソーシャルワーク演習 I」「ソーシャルワーク演習 II」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導 I・II」「社会福祉専門演習 I・II」「卒業論文」を担当した
- 2) 大学院において、ソーシャルワーク特論を担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) FSDS 委員会委員長（2019. 4～）

行實志都子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 岡部卓, 新保美香, 行實志都子, 六波羅 詩朗 編集 (2021)『最新 社会福祉養成講座 4 貧困に対する支援』中央法規出版

3 その他の著作

【報告書】

- 1) 厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害者分野) (平成30年度～令和元年度 総合研究報告書) 研究代表者 田村綾子 研究分担者4名 行實志都子 2番目『障害者の地域移行及び地域生活支援のサービスの実態調査及び活用推進のためのガイドライン開発に資する研究』
- 2) 厚生労働科学研究費補助金 障害者生活総合研究事業 (平成30年度～令和元年度 総合研究報告書) 研究代表者 中村丁次 研究分担者8名 行實志都子 8番目『障がい児が快適に日常生活を営むための即時抵抗等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究』
- 3) 厚生労働省令和2年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分) 研究統括 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟『新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける研修のあり方に関する調査研究事業』

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

【学会】

- 1) 日本リハビリテーション連携科学学会 理事 2020.4～

【協会】

- 1) 一般社団法人 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～
神奈川県精神保健福祉士協会において, 副会長を務める
- 2) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員
2016.6.1～2020.5.31
- 3) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 理事 精神保健福祉士協会の全国を統括している本部の理事である 2020.6～

【公的団体】

- 1) 埼玉県ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 埼玉県ふじみ野市が主催する精神障害者支援に関係する機関や家族、学識経験者が集まり、ふじみ野市の精神障害者への支援を検討する。2008.4.1～
- 2) 埼玉県三芳町自立支援協議会 会長 埼玉県三芳町の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める。2010.4.1～
- 3) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 川崎市の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める。2016.4.1～
- 4) 横浜市精神医療審査会 予備委員 横浜市の住民が精神科病院への入院に対する不服申し立て、病院からの対応等について調査並びに審査を行う 2018. 4～
- 5) 川崎市指定管理者選定委員会 委員 川崎市障害福祉に関する施設の指定管理選考を行う 2018～

- 6) 川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞選考委員会 委員 川崎市における文化の向上、市民生活、スポーツの分野において発展に貢献した人への表彰に対する選考委員 2019.4～
- 7) 川崎市第5次かわさきノーマライゼーション策定委員会 委員 川崎市の障害者福祉計画を策定する 2020.4～
- 8) 渋谷区医療的ケア児支援関係機関協議会 会長 渋谷区の医療的ケア児に対する支援を検討する 2021.1～

【福祉法人等】

- 1) 社会福祉法人結の会 理事 新宿区にある就労継続支援 B 型を実施する社会福祉法人であり、その会の理事を務める。 2013.1.1～
- 2) かながわ福祉サービス運営適正委員会 委員 神奈川県社会福祉協議会が主催する神奈川県内の福祉サービスが適正に実施できているか評価する 2016. 4～
- 3) かながわ福祉サービス苦情解決委員会 委員 神奈川県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会の中にある委員会である 2016.4～
- 4) 精神保健福祉士国家試験委員 2020.4～

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて、社会福祉学科統括担当しオンラインビデオを作成する
- 2) 神奈川県精神保健福祉士協会 三浦・横須賀支部を担当理事として運営し、三浦・横須賀地域の精神保健福祉士の連携を図る。

6 講演、放送

- 1) 小田原市主催「小田原市精神障がい者ピアサポート事業研修会講師」、精神障害者のピアサポート養成を行う 2020.11.17
- 2) 神奈川県社会福祉協議会主催「苦情解決研修会講師」 苦情を生まない支援を考えてみようというタイトルでオンライン研修を行う（講義・演習）2020.11.24
- 3) 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 演習担当教員講習会 研修 新カリキュラムに伴う社会福祉士・精神保健福祉士演習担当教員へ研修を行う 2021.2.8 と 2.16
- 4) 神奈川県社会福祉協議会主催 「かながわライブサポート事業コミュニティソーシャルワーカーの養成研修講師」 対人援助職への相談支援方法についてというタイトルでオンライン研修を行う（講義・演習）2021.3.1 と 3.4
- 5) かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク主催 神奈川県委託事業「障害者相談支援従事者研修 主任者研修 講師」2021.3.3
- 6) 日本精神保健福祉士協会主催 厚生労働省委託事業「精神障害者実習指導者養成研修講師」2021.3.13.と 3.15

7 学会等での活動

【学会発表】

- 1) 藤谷朝美, 共著者 10 名 行實志都子は 4 番目, 通所事業所利用障害児・者の栄養ケア・マネジメントのための「栄養アセスメント・モニタリングシート」第 42 回日本

臨床栄養学会総会・第41回日本臨床栄養協会総会 第18回大連合大会

- 2) 槇野雅文, 共著者 10名 行實志都子は10番目, 若手育成プロジェクト(WAKA10)の取り組み～第1報 苦悩と葛藤との戦い～, 第19回日本精神保健福祉士学会
- 3) 行實志都子, 共著者 10名 精神障害者の退院支援における退院後生活環境相談員と地域援助事業者の連携の現状と課題～フォーカスグループインタビューをとおして～ 第19回日本精神保健福祉士学会

8 学内教育活動

- 1) 精神保健福祉士養成課程コース、コース長
- 2) 「精神保健学Ⅰ」
- 3) 「精神保健福祉援助技術各論」(主担当として通年科目の後期を担当する)
- 4) 「精神保健福祉援助技術演習」(主担当として対応する)
- 5) 「精神保健福祉援助技術実習指導Ⅰ・Ⅱ」(主担当として対応する)
- 6) 「精神保健福祉実習」(主担当として対応する)
- 7) 「社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ」(3年生、4年生のゼミ活動である。2020年度は、『ストレスとうまく付き合うには～大学生の皆様へ～』というタイトルの冊子をつくり、音声の一部をオープンキャンパスで流す)
- 8) 大学院前期課程での指導

9 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会 自己評価委員担当
- 2) 社会福祉学科 オープンキャンパス担当

11 学内研究助成金の受託

- 1) 行實志都子, 共著者 7名 研究助成B(奨励研究)「相談支援専門員のための地域人材育成プロジェクト～雑談Caféの取り組み～」

石井 忍 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 石井忍・松田愛美・中村美安子 (2021) 「入居者の重度化に対応するユニットケアの体制に関する研究—特別養護老人ホームにおける食事介助が入居者受け入れに与える影響—」『神奈川県立保健福祉大学誌』18 (1), 45—53.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2) 横浜市西区野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～
- 3) 横浜市西区地域ケアプラザ指定管理者選考委員会 委員長 2019.12～

5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台 第三者委員, 2010.4～
- 2) 社会福祉法人 きしろ社会事業会評議員 2017.4～

7 学会等での活動

- 1) 石井忍・松田愛美・中村美安子、「入居者の重度化に対応するユニットケアの体制に関する研究 2」、第 33 回日本保健福祉学会学術集会, 口頭発表, 2020.10
- 2) 相良友香・福士貴子・石井忍・新保幸男, 『『利用者主体』についての考察(1)—特別養護老人ホームにおける介護福祉を中心として—』, 口頭発表, 日本社会福祉学会関東部会, 2021.3
- 3) 新保幸男・相良友香・福士貴子・石井忍 『『利用者主体』についての考察(2)—児童虐待への対応を中心として—』 口頭発表, 日本社会福祉学会関東部会, 2021.3

8 学内教育活動

- 1) 介護福祉実習を学内実習として行ったため、実習先施設と協力し、支援に関する資料映像を何パターンも作成
- 2) 介護過程 I の事例作成のための事前情報を高齢者施設に協力を依頼し共同製作

9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター国際協働部門
- 2) 進路支援ワーキンググループ
学生が情報不足にならないよう情報を絶えず発信し、個別相談にも応じる。

岸川 学（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 阿部志郎, 市川一宏, 岸川学, 村田哲康, 岸川洋治 (2021)『福祉に生きる君へ』, 燦葉出版社

3 その他の著作

- 1) 岸川学, 菊池一美, 山崎辰夫, 田中秀巳, 中田麻奈, 千葉高史, 伊藤雅子, 田中晃, 八重樫譲, 大友崇弘, 福井尚子, 松浦俊之 (2021)『支援困難事例に関する対応事例集』, 神奈川県相談支援体制充実強化事業, 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課地域生活支援グループ

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問委員. 2011.5～
- 2) 全国アダプテッドエアロビック専門部会医科学委員会委員. 2011.5～
- 3) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員長. 2011.8～
- 4) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会委員. 2012.9～
- 5) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議委員. 2013.4～
- 6) 横須賀市障害とくらしの支援協議会くらしを支える連絡会会長. 2013.4～
- 7) 神奈川県立岩戸養護学校評議会委員. 2014.6～
- 8) 鎌倉市自立支援協議会全体会委員. 2016.4～
- 9) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者支援協議会会長. 2016.4～
- 10) 社会福祉法人みなと舎評議員.2017.6～
- 11) 横須賀学院高等学校科学教育センター運営指導委員. 2018.4～
- 12) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」運営委員. 2018.12～
- 13) 神奈川県発達障害サポートネットワーク推進協議会部会長. 2019.12～

5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人いちょうの里みずほ学園における自閉症者支援のコンサルテーション. 2011.12～
- 2) 社会福祉法人横須賀基督教社会館における自閉症児支援のコンサルテーション. 2017.12～
- 3) 社会福祉法人県央福祉会三浦創生舎における自閉症者支援のコンサルテーション. 2018.9～
- 4) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」の運営. 2018.12～
- 5) 神奈川県相談支援体制充実強化事業事例検討会における専門的コンサルテーション. 2019.7～
- 6) 神奈川県相談支援体制充実強化事業研究会における専門的助言者. 2019.7～
- 7) 社会福祉法人海風会いちばん星における自閉症者支援のコンサルテーション. 2020.10～
- 8) 横須賀学院科学教育センター主催横須賀学院セミナーオにおける講師. 2020.11.25

- 9) 横須賀市「広報よこすか」2021年1月号における阿部志郎名誉学長と本学学生対談記事のコーディネート。2020.12
- 10) 玉川聖学院高等部高1施設訪問関連企画に向けての講師。2021.2.8
- 11) 新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部保健所支援者。2021.2

6 講演、放送

- 1) 講演：「コミュニケーション」、自閉症eサービスかながわWEBセミナー，2020.8.29
- 2) 講演：「支援とは何か」「専門性とは何か」「燃え尽きないために」，令和2年度新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会【秋季】，神奈川県・神奈川県社会福祉協議会，2020.11.13，11.27，12.17
- 3) 講演：「福祉の現場で考えた一人と社会の幸せを一緒に考える仲間を探していますー」第1回地域で幸せに暮らす！福祉と医療の両方からできることを考える，一般社団法人幸せを種から育てる知恵袋主催WEBカンファレンス，2020.12.5
- 4) 講演：「自閉スペクトラム症の人の理解と支援ー知的障害のある自閉症の人への支援ー」神奈川県立藤沢養護学校職員研修会，2021.1.6
- 5) 講演：「一人ひとりを大切に 障害のある子を含めた生活づくり 発達障害が疑われる子どもを中心に考える」，第44回神奈川県学童保育研究集会，神奈川県学童保育連絡協議会，2021.2.28

8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部において保健医療福祉論Ⅰ，ソーシャルワークⅢ，ソーシャルワーク演習Ⅰ，ソーシャルワーク演習Ⅱ，ソーシャルワーク実習Ⅱ，ソーシャルワーク実習，ソーシャルワーク実習指導Ⅰ，ソーシャルワーク実習指導Ⅱ，社会福祉基礎演習Ⅰ，形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援（1回）」を担当。
- 2) 大学院博士前期課程においてソーシャルワーク特論Ⅱを担当。
- 3) H.S.C（ほっとするクラブ），卓球サークル，剣道サークル，顧問。
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「相談援助の理論と方法」を担当。2020.12

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会研究助成部門委員。2018.4～
- 2) 新入生オリエンテーション担当。2019.4～
- 3) 第2次将来構想委員会 ヒューマンサービス研究会WG構成員。2020.9～2021.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈研究代表者，岸川学，池田公平，長島俊輔，内海淳。谷戸地区で暮らす住民の健康増進活動に関する実態調査。地域貢献研究センター研究助成，250千円，2020.5.1～2021.3.31。

井上 夏子

2 学術論文

- 1) 「精神保健福祉領域のソーシャルワークにおける『パートナーシップ』に関する考察ー「理想的な関係性」とする位置づけの再考ー」(2020)『社会福祉学』(明治学院大学大学院紀要) 第45号, pp21-32。

3 その他の著作

- 1) 「令和2年度 公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉振興関係調査研究助成事業『地域移行支援における精神保健福祉士・社会福祉士のコンピテンシーに関する研究』『ニーズの掘り起こしに係るコンピテンシー』調査報告書」(2020) ソーシャルケアサービス協議会。

5 社会貢献

- 1) 横須賀市障害区分等認定審査会の審査委員として、審査会の審議に参加した。
- 2) 特定非営利活動法人 日本医療政策機構「国際潮流と日本のメンタルヘルス政策」プロジェクトのヒアリングに協力した。実践現場・教育現場での経験を踏まえて、精神科病院/地域生活支援における精神保健福祉士の役割、精神医療・精神保健福祉の現状に対する考え等についての意見を発信した。

7 学会等での活動

- 1) 日本社会福祉学会、日本社会精神医学会、日本精神保健福祉学会、日本精神保健福祉士協会、神奈川県精神保健福祉士協会の会員として、研究活動等に従事した。
- 2) 日本精神保健福祉士協会として、ソーシャルケアサービス協議会が受託した調査研究に研究者として参加した。

8 学内教育活動

- 1) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神障害者の生活支援システム」「精神科リハビリテーション学」「精神福祉援助技術総論」を担当した。
- 2) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉援助実習」及び「精神保健福祉援助演習」の補佐的役割を担った。
- 3) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の国家試験対策を担当した。
- 4) 社会福祉学科2年次の「社会福祉基礎演習Ⅱ」のクラス担当として、指導にあたった。
- 5) 精神保健福祉士課程の学生の学習上の相談に応じ、指導を行った。
- 6) 精神保健福祉援助実習における実習機関の指導者と連携し、巡回や電話相談などの機会をもって、学生の円滑な実習の実施に努めた。

9 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパスの学科担当教員として、オンラインでの実施のための視聴資料の企画・作成に取り組んだ。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 「公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉振興関係調査研究助成事業」を受託し、「地域移行支援における精神保健福祉士・社会福祉士のコンピテンシーに関する研究」・「ニーズの掘り起こしに係るコンピテンシー」調査報告のための研究活動に従事した。

11 学内研究助成金の受託

- 1) 「研究助成 B (奨励研究)」を受託し、「精神保健福祉領域における当事者とソーシャルワーカーのパートナーシップー当事者から見た関係性に焦点をあててー」を課題とした研究活動に従事した。

種田 綾乃

1 著書

- 1) 種田綾乃.(2020). 自然災害による傷つきと排除. 中谷陽二,斎藤環,森田展彰,小西聖子編, 現代のメンタルヘルス—排除と包摂—(p.116-p.126). 東京: 星和書店.

2 学術論文

- 1) 池田朋広, 青木彩香, 石川亜弓, 種田綾乃, 江島智子, 長谷川恵子, 小松崎智恵, 久永文恵, 松本俊彦, 大島巖.(2021). 併存性障害(重複障害)者を支援するためのEBPツールキットの紹介—ITCOD(integrated treatment for co-occurring disorders)について—. *精神科治療学*, 36(1), 109-113.
- 2) Yasutaka Ojio, Sayaka Sato, Ken Ichikawa, Michiyo Shimodaira, Ayano Taneda, Sosei Yamaguchi, Toshiko Takai, Chiyo Fujii.(2021). Survey on Employment Support for People with Mental Illness in Employment and Livelihood Support Centers for Persons with Disabilities. *日本社会精神医学会雑誌*, 30(1), 10-19.
- 3) Sosei Yamaguchi, Sayaka Sato, Yasutaka Ojio, Takuma Shiozawa, Asami Matsunaga, Ayano Taneda, Utako Sawada, Koji Yoshida, Chiyo Fujii.(2021). Assessing stable validity and reliability of the Japanese version of the individualized supported employment fidelity scale: A replication. *Neuropsychopharmacology Reports*, doi: 10.1002/npr2.12172.

3 その他の著作

- 1) 岩崎香, 藤井千代, 山口創生, 宮本有紀, 種田綾乃.(2021). 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に係る講師を担える人材の養成及び普及のための研究 総括研究報告書
- 2) 種田綾乃, 三宅美智, 山口創生, 岩崎香.(2021). ピアサポート養成研修のプログラム評価に関する研究. 令和元年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「障害者の地域移行及び地域生活支援のサービスの実態調査及び活用推進のためのガイドライン開発に資する研究」分担研究報告書
- 3) 田村綾子, 藤井千代, 行實志都子, 鈴木孝典, 種田綾乃.(2021). 精神科病院と障害福祉サービス事業所等との地域連携のあり方に関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「障害者の地域移行及び地域生活支援のサービスの実態調査及び活用推進のためのガイドライン開発に資する研究」分担研究報告書
- 4) 相川章子, 荒井浩道, 種田綾乃, 濱田由紀, Mark Salzer, 安井直子.(2021).精神保健福祉領域におけるピアサポートの普及啓発およびピアスタッフ養成に関する研修プログラムの開発.いのちとくらし研究所報,(74),62-69.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 (2020年4月～現在)
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者

(2017年10月～現在)

- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 (2018年7月～現在)
- 4) 秦野市教育委員会・教育研究所 専門相談員 (スクールソーシャルワーカー)・第三者委員 (2018年4月～現在)
- 5) 平塚保健福祉事務所秦野センター 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 アドバイザー (2019年10月～現在)
- 6) 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会 実行委員会 委員 (2020年10月～現在)

5 社会貢献

- 1) 障害者ピアサポート専門員養成研修 企画委員・講師 (2016年4月～現在)
- 2) ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査及び検討に関する委員会 委員 (2018年4月～現在)
- 3) ピアサポート文化を広める研究会 委員 (2017年9月～現在)
- 4) あいメンタルクリニックリカバリーセンター 講師 (2018年9月～現在)、
- 5) WRAP® (Wellness Recovery Action Plan) プログラムの開催・講師 (2020年6月20日、7月18日、12月12日)
- 6) 秦野子ども支援プロジェクト「ゆう」 会員 (2017年4月～現在)
- 7) 秦野市教育委員会「はだのっ子あんしん相談室」専門員 (緊急事態宣言下での専門職による電話相談) (2021年1月21日、2月14日、2月18日、3月11日、3月18日)
- 8) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所への応援派遣 (2021年2月1日、2月5日、2月9日、2月12日)

6 講演, 放送

- 1) 横浜ピアスタッフ協会主催の「ピアマスター講座 修了式」において、「明日への言葉」の講話を行った。横浜, 2020年6月28日。
- 2) 横須賀市こども家庭支援センターこども家庭支援課主催の「令和2年度障害の理解を深める講演会特別編」として、「心の距離を近づけよう!～弱さを抱えた”当事者”による地域づくり」についての講演を行った。神奈川, 2020年12月7日。
- 3) 秦野市地域活動支援センターぱれっと・はだの主催の「秦野市ピア学習会」の連続講座の企画および講師・ファシリテーターを務めた, 神奈川, 2020年10月22日・11月26日・12月24日・1月28日・3月25日。
- 4) 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に係る講師を担える人材の養成及び普及のための研究班主催の「精神障がい者ピアサポート専門員養成研修」の動画映像にて、「ピアサポーターを活かすスキルと仕組み」の講師として出演した。

7 学会等での活動

- 1) 山口創生, 種田綾乃, 吉田光爾: 日本版個別型援助付き雇用フィデリティ尺度の妥当性: 3年間の追試のまとめ, 第9回日本精神保健福祉学会全国学術集会, 岡山, 2021年6月27日。

- 2) 種田綾乃, 山口創生, 三宅美智, 岩崎香: 障害者ピアサポーター養成研修の受講者における研修受講による効果・変化. 第40回日本社会精神医学会(オンライン学会), 2021年3月4-5日.
- 3) 田村綾子, 藤井千代, 行實志都子, 鈴木孝典, 種田綾乃: 精神科病院と障害福祉サービス事業所等との地域連携のあり方に関する調査研究. 第40回日本社会精神医学会(オンライン学会), 2021年3月4-5日.

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ(分担)、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ(分担)、ヒューマンサービス総合演習(補助)
- 2) ソーシャルワーク実習の事前・事後指導、ソーシャルワーク実習報告会の運営、社会福祉士実習指導者講習会の企画

9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター研究支援部門 委員
- 2) 実習センター運営委員会 委員
- 3) 入学式・卒業式実行委員会 委員
- 4) オリエンテーション委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 相川章子, 濱田由紀, 荒井浩道, 種田綾乃: 精神保健福祉領域のピアサポートによる福祉的予防に関する探索的研究, 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団, 2019年9月1日～2020年8月31日.(研究分担者)
- 2) 岩崎香, 秋山剛, 藤井千代, 山口創生, 種田綾乃, 宮本有紀他. 障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に係る講師を担える人材の養成及び普及のための研究, 厚生労働省科学研究費助金 障害者政策総合研究事業, 2019年4月～2021年3月.(研究分担者)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 種田綾乃, 川嶋恵子, 小川のり子. 基幹相談支援センターにおける精神障害者ピアサポーターの養成・スーパービジョン体制づくり, 地域貢献研究センター研究事業, 250,000円, 2020年5月～2021年3月.
- 2) 種田綾乃, 池田朋広. 精神障害と物質使用障害を併存する者に対するリカバリー志向の支援のあり方に関する研究—支援ツールの開発に向けた基盤的研究—, 研究助成B(奨励研究)助成金, 591,416円, 2020年6月～2021年3月

14 その他

- 1) Team D-DRoPS プロジェクト「物質使用障害と精神障がいを持つ方のためのリカバリーワークブック (Designing Recovery Plan-Drug addiction & Dual Disorder-Workbook)」 ロゴマーク、表紙イラスト

松田 愛美

3 その他の著作

- 1) 石井忍・松田愛美・中村美安子(2021)「入居者の重度化に対応するユニットケアの体制に関する研究—特別養護老人ホームにおける食事介助が入居者受け入れに与える影響—」『神奈川県立保健福祉大学誌』, 18(1), 45-53.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護福祉士養成施設連絡協議会運営委員(通年).

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス社会福祉学科企画・責任者(通年).
- 2) 三浦市社会福祉協議会日常生活自立支援事業契約締結審査会委員 (通年).
- 3) 社会福祉法人ユアアイ 2 1 太陽の家 逸見倶楽部 運営推進会議委員(通年).

7 学会等での活動

- 1) 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会において、「保健医療福祉職を対象としたサーバントリーダーシップと働きがいに関する英文文献レビュー」の学会発表を行った(2020年10月3日).

8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 介護総合演習Ⅰ, 介護総合演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(分担), 形態別介護技術演習Ⅰ・Ⅱ(分担), 介護技術演習Ⅰ・Ⅱ(分担), 介護技術方法論(分担), 介護福祉実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(分担), レクリエーション活動援助法(分担), 介護過程Ⅰ(分担), 社会福祉基礎演習Ⅰ(分担)(通年).
- 2) 社会福祉士国家試験対策授業の実施(2020年12月10日).
- 3) 介護福祉士国家試験対策授業の実施(2021年1月5日).

9 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス社会福祉学科企画・責任者(通年).
- 2) 卒業・修了式, 入学式実行委員(通年).
- 3) 新年度学科別オリエンテーション担当(通年).
- 4) 社会学科共同研究室責任者(通年).
- 5) 車いす使用学生の学内の環境改善のため, 当該学生との意見交換, 必要物品の選定, 財務課とのやり取りを行い, 講義室の車椅子用机の追加, ロッカー内の照明スイッチの改善, 新たなロッカーの設置等を行った(通年).
- 6) 什器ワーキングチーム(通年).
- 7) 図書委員会図書委員(2020年11月～2021年3月).
- 8) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)において, 面接会場への誘導業務を行った(2020年11月23日, 2021年2月25日, 3月12日).
- 9) 大学入学共通テスト試験1日目の試験官業務を担当した(2021年1月16日).

12 受賞

- 1) 第 13 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会において「いいね賞（参加者が選ぶ最優秀演題賞）」を受賞(2020年10月10日).